

# 平成26年3月期 中間期決算説明会

平成25年11月20日



イメージ情報開発株式会社

東証JASDAQ：証券コード 3803

- I      グループ概要**
- II     平成26年3月期 中間期決算概要**
- III    平成26年3月期 通期の見通しと今後の取組**

【設立】	1975年（昭和50年）10月
【代表者】	代表取締役社長 代永 衛
【資本金】	4億6,705万円
【事業内容】	情報システムの企画・開発、保守・管理運営
【本社所在地】	東京都千代田区猿楽町 2-4-11 犬塚ビル
【子会社】	イクオス株式会社/株式会社インスパイア/株式会社北栄（持分法適用関連会社）
【沿革】	昭和50年10月 会社設立 昭和51年4月 Jコンピュータ&イメージデータの複合処理事業を開始 昭和55年12月 本社事務所を東京都港区新橋に移転 昭和59年4月 システムインテグレーション事業に進出 平成16年4月 セキュリティサービス販売を開始 平成17年9月 インターネットデータセンター開設 平成18年4月 大阪証券取引所(現東京証券取引所)JASDAQへ株式上場 平成19年5月 本社事務所を東京都港区芝大門に移転 平成21年7月 NSセミコン株式会社を子会社化 平成21年12月 イクオス株式会社設立 平成23年7月 本社事務所を東京都千代田区猿楽町に移転 平成24年9月 株式会社インスパイアを子会社化 平成24年12月 NSセミコン株式会社を子会社から除外 平成25年8月 株式会社北栄を持分法適用関連会社化

# イメージ情報開発グループについて



「システム設計・構築を基盤にマーケティング機能を付加した総合サービスによる企業ビジネスの支援」、  
「自社製品の販売・サービス提供」、「特異性のある、子会社の育成、他企業とのシナジー」で構成します。

砂・砂利・砕石等の採取及び販売  
その他の建築材料の卸売業

メディカル&アンチ・エイジングモール運営  
及び関連商品販売

特異性のある企業  
との提携事業

マーケティングコンサル  
ECサイト構築

新たな提携

北栄

イクオス

インスパイア

特異性のある企業・子会社との  
アライアンスによる発展的なグループ経営

ECサイト運営

ITを駆使したマーケティングソリューションにより  
企業ビジネスの支援・新規事業の推進

企画・開発・販売

IT関連機器販売  
ソフトウェアパッケージ  
商品販売

コンサルティング、設計・開発  
運用保守、BPO、商品販売

Core Business

中堅・中小規模企業、  
特定マーケット向け  
ソフトウェア・パッケージ  
Webデザイン

決済  
収納代行  
サービス

特定業種向け  
ソフトウェア

ハミングハズ社の最新  
セキュリティシステム  
を中心に拡販・運用

地域活性化  
サービス

ネットワーク  
セキュリティ

FIFAワールドカップ公  
認グッズ販売

地方自治体、商工会議所、商店街等との提携による  
地域活性化サービス（決済、ポイント、Web等）

- I グループ概要
- II 平成26年3月期 中間期決算概要
- III 平成26年3月期 通期の見通しと今後の取組

【単位：百万円】

	平成25年3月期 年度末実績	平成26年3月期 中間期末実績	対前期比	
			増減	増減率 (%)
資産合計	873	801	△71	△ 8.2
流動資産	660	309	△350	△ 53.0
固定資産	213	491	278	130.2
負債合計	252	231	△20	△8.0
流動負債	139	119	△20	△14.5
固定負債	112	112	0	0.1
純資産合計	621	569	△51	△ 8.3
負債純資産合計	873	801	△71	△ 8.2

- ✓ 流動資産：現預金 464百万円減、短期貸付金 95百万円増
- ✓ 固定資産：長期貸付金 216百万円増、投資有価証券 48百万円増
- ✓ 流動負債：買掛金 39百万円減、賞与引当金 5百万円増
- ✓ 固定負債：退職給付引当金 2百万円増
- ✓ 純資産：利益剰余金 52百万円減

# 中間期損益計算書【連結】



【単位：百万円】

	平成25年3月期 中間期実績	平成26年3月期 中間期実績	対前期比	
			増減	増減率 (%)
売上高	327	367	39	12.2
売上総利益	89	69	△20	△22.6
販管費	136	121	△15	△11.3
営業利益	△47	△52	△4	—
経常利益	△47	△54	△7	—
中間純利益	△58	△52	6	—

- ✓ 売上高：運用/保守が大幅増、BPO/サービス分野は堅調、設計/構築が減少
- ✓ 経常損失/中間純損失：売上高増も売上原価率上昇、販管費を圧縮するも、持分法による投資損失を計上

## ■ 当中間期連結業績

◎ 売上高 367百万円(前期:327百万円)

(単位:百万円)

	コンサルティング /設計/構築	保守/運用	商品販売	BPO/ サービス	合計
平成26年3月期中間期	152	111	12	90	367
平成25年3月期中間期	165	76	9	76	327
前年同期比	92.2%	146.4%	134.1%	118.4%	112.2%

運用/保守は大幅増、BPO/サービス分野は堅調に推移するも、コンサルティング/設計/構築が減少

◎ 経常損失 54百万円(前年同期:経常損失 47百万円)

◎ 中間純損失 52百万円(前年同期:純損失 58百万円)

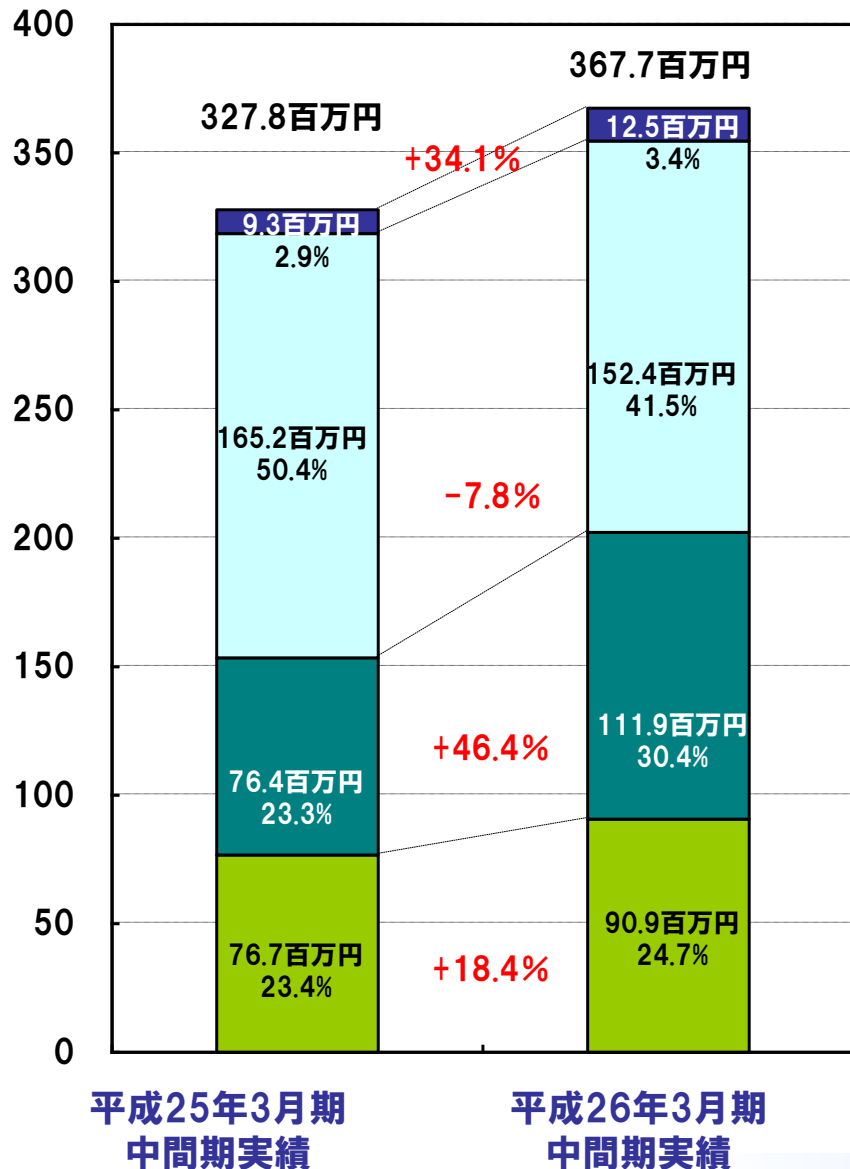
売上高増も売上原価率上昇、販管費を圧縮するも、持分法による投資損失を計上



# 売上構成【連結】



【単位:百万円】



## 商品販売

化粧品販売事業を開始

## コンサルティング/設計/構築

大企業からの受注を維持も単価低下

## 運用/保守

Web更新等の業務が増加

## BPO/サービス

商工会議所ならびに地域商店街等向けクレジット決済サービスの取扱拡大、デジタルサイネージによる地域活性化サービスの新規受注

# キャッシュフロー【連結】



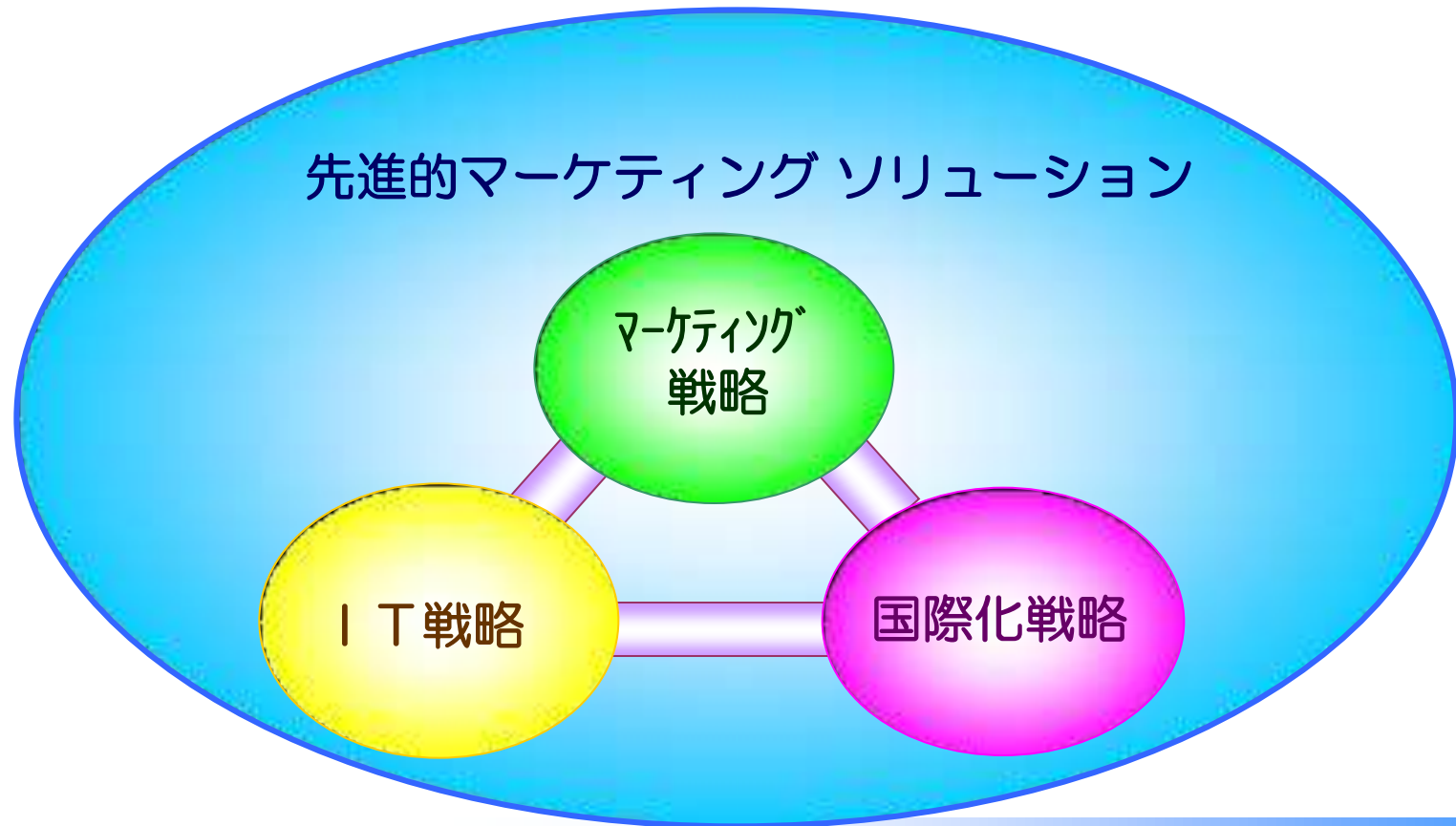
【単位：百万円】

	平成25年3月期 中間期実績	平成26年3月期 中間期実績	対前期比 増減
営業活動によるキャッシュフロー	△5	△94	△89
投資活動によるキャッシュフロー	△45	△21	23
財務活動によるキャッシュフロー	△2	4	7
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	△53	△111	△58
現金及び現金同等物の中間期末残高	130	54	△75

- ✓ 営業活動CF：税金等調整前中間純損失 54百万円  
仕入債務の減少 39百万円
- ✓ 投資活動CF：定期預金の減少による増加 352百万円  
貸付による支出 342百万円  
投資有価証券の取得による支出 50百万円
- ✓ 財務活動CF：借入による収入 8百万円

- I グループ概要
- II 平成26年3月期 中間期決算概要
- III 平成26年3月期 通期の見通しと今後の取組

当社グループは、期初に掲げた「先進的マーケティングソリューションとそれを支えるIT機能をもって、変革を求める企業の経営を支援する」という理念のもと、国際化戦略を含めたマーケティング戦略機能に向けた取り組みを推進しております。

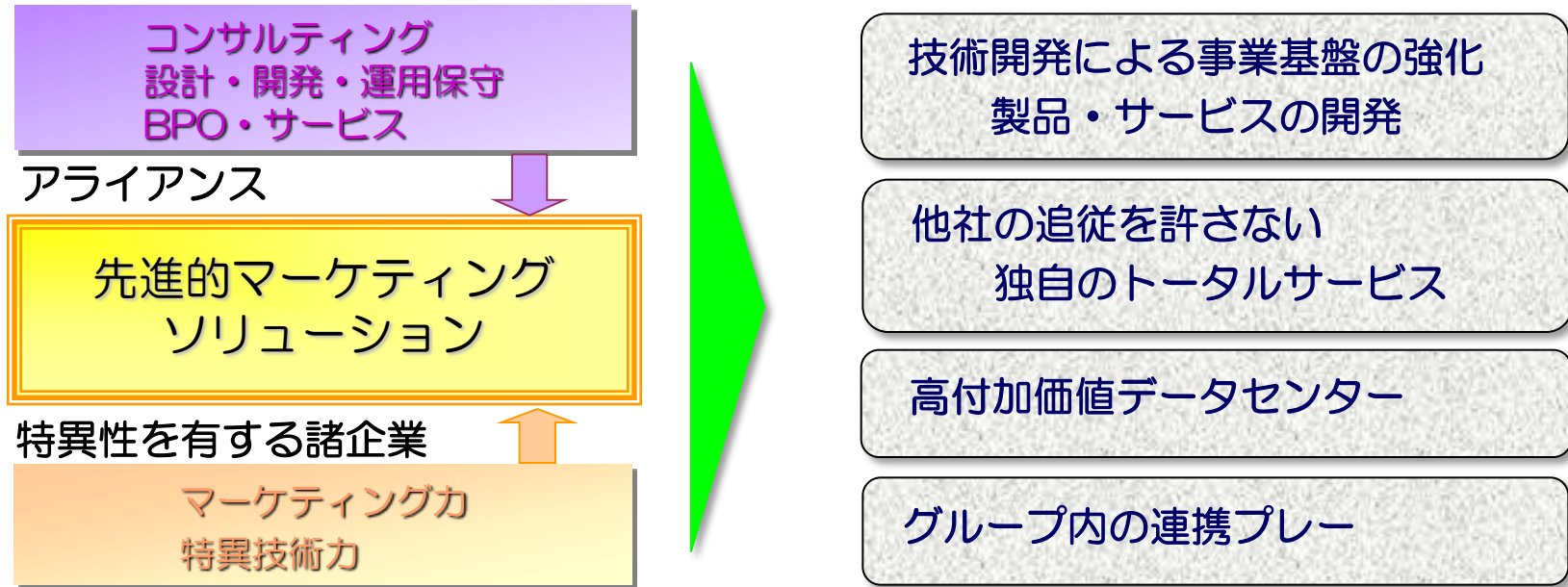


# 独創的ビジネスモデルで時代の変化に対応

- (1) 変動の激しい現在の市場動向にスピーディーな対応を求め特異性を有する諸企業とのアライアンスを実施する。
- (2) 時代の要請に沿ったビジネスモデルを創出し、他社の追従を許さない独自のトータルサービス体制を確立する。
- (3) 短期的には本年度の黒字化を目指し、中期的には利益を飛躍的に伸長させる。

取組内容：コンサルティング収入計上加速、物販事業の開始、海外向け素材販売開始 等

## 当社のIT総合サービス



# 平成26年3月期の通期業績予想【連結】



(単位：百万円)

	平成25年3月期 (実績)	平成26年3月期 通期予想			
		上期 (実績)	下期	通期	増減率(%)
売上高	744	367	561	928	24.7
営業利益	△83	△52	33	△19	—
経常利益	△80	△54	△5	△59	—
当期純利益	△75	△52	11	△41	—

- 既存大手取引先との受注継続
- コンサルティング業務推進による新たな収益源の確保
- 新規事業の構築
  - ・ 当社ECサイト物品販売事業
  - ・ イクオス社の化粧品販売
  - ・ インスパイア社のリピートル（販促支援パッケージシステム）
- 売上原価率低下の歯止め

## コンサルティング/設計/構築

- 大手取引先からの受注は現状維持の見込み
- パッケージ商品のカスタマイズ受注の推進
- 新たなコンサルティング収入
- 売上原価率低下の歯止め

## 運用/保守

- インスパイア社によるWeb更新業務規模の維持、拡大
- システム構築後の保守業務受託

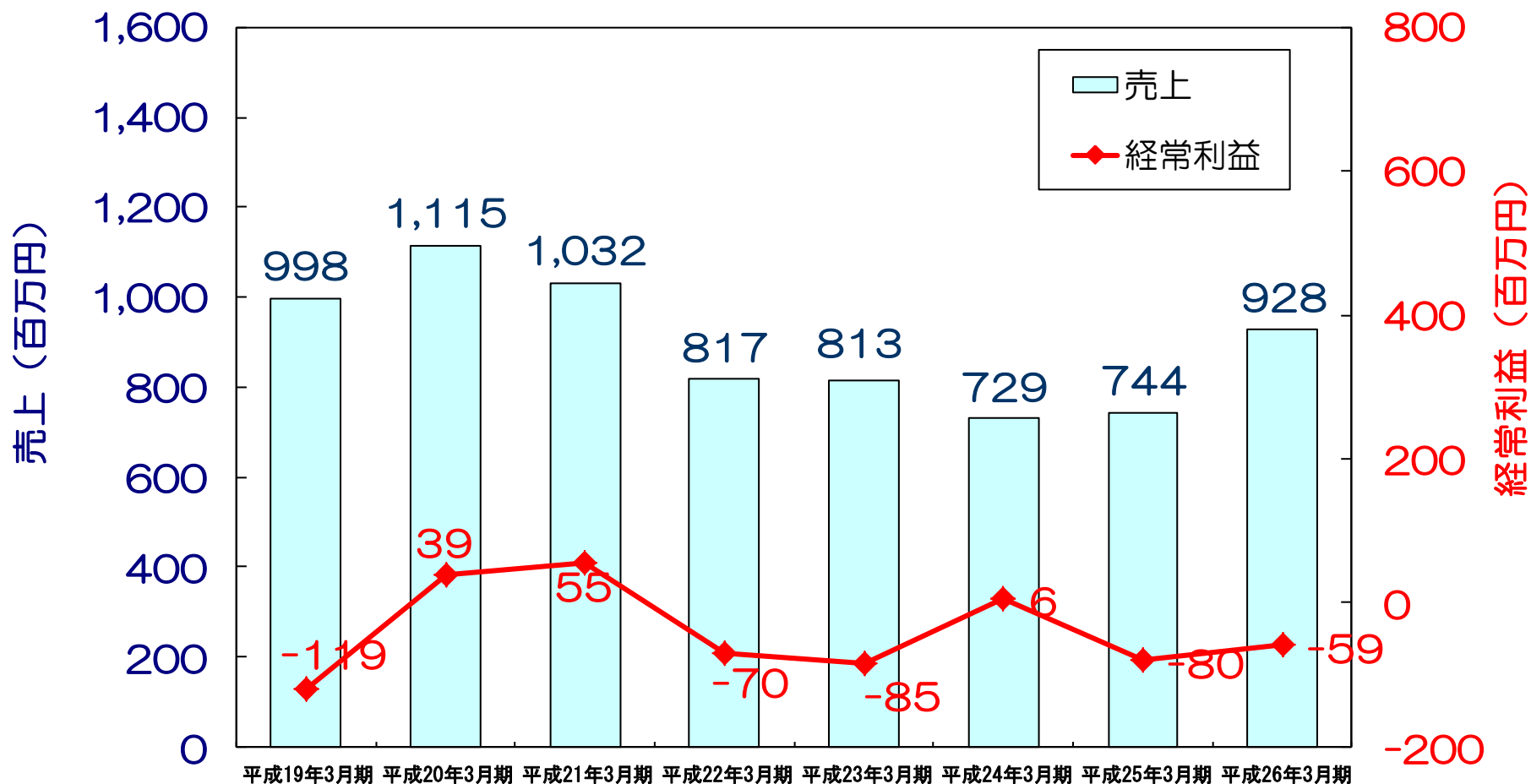
## 商品販売

- ECモールでの物品販売の開始
- イクオス社の化粧品販売
- LED販売

## BPO/サービス

- 商工会議所向け検定受付代行システムの再構築による新規取扱い会議所の開拓
- 決済サービスを活用した新たな受注先の開拓

■グループでの売上V字回復、組織構造の改革による利益体質転換への足場構築  
継続的成長に向けた事業推進





## ■ 事業進捗状況(既存事業の拡大)

先進的マーケティングソリューションカンパニーの実現に向けて事業を推進

### ◎ IT支援サービスの推進

- ・ 大型案件を含む大企業からのシステム設計開発案件の受注確保

### ◎ 株式会社北栄へのコンサルティング開始

- ・ 受注が徐々に活発化しており、今後は飛躍的な増加が見込まれる。  
当社は北栄社に対し、経営体制確立と事業推進力強化へのサポートを開始  
※詳細は次頁の「株式会社北栄を持分法適用関連会社化」をご参照ください

### ◎ 自社プロダクトサービスの促進

- ・ スマートフォン、タブレットおよびデジタルサイネージなどの特徴を活かした観光情報発信ソリューション『Easy Navi』の拡充
- ・ 段ボールメーカー向け基幹システム『i-case (アイケース)』の機能向上

### ◎ サービス・BPOの拡大

- ・ 大手企業とのクレジット決済サービスの新規取扱の開始
- ・ 商工会議所が主催する各種検定試験の業務受託システムの再構築と拡販

## ■ 株式会社北栄を持分法適用関連会社化

当社グループは、最大の強みでありますシステム設計／構築を基盤とする、マーケティング機能を付加した業種を限定しない取引企業の発展に寄与ができる経営コンサルタント分野の充実を図っております。

そうした環境下、港湾土木事業の海砂利採取事業を主要な事業としている株式会社北栄より当該事業を効率的に行うための経営コンサルタント依頼の要請があり、本年**6月20日**付当社は同社と「業務提携基本契約書」を締結し、コンサルタント業務に着手しました。同社は、平成**26年1月**から開始予定の大規模な港湾土木事業計画における海砂利採取事業の受託が予定されており、長期間の協力関係の必要性から**8月14日**当社は北栄社の発行済株式の**50%**を取得し、同社を持分法適用関連会社といたしまして、追加の資金援助を行いました。

## ■ 企業提携

### ◎ ハミングヘッズ社との提携強化

- 新開発されたコンピュータウィルス対策ソフトの拡販分野において両者の強みを活かした提携を強化。

### ◎ 子会社イクオスが化粧品販売を開始

- 株式会社ブイエムシーと提携し、化粧品販売を9月より開始。

### ◎ ECモールでの直接販売

- FIFAワールドカップグッズ等のインターネットでの販売権を取得し、2013年12月より販売開始を予定。

## ■ 経営インフラの強化を実施

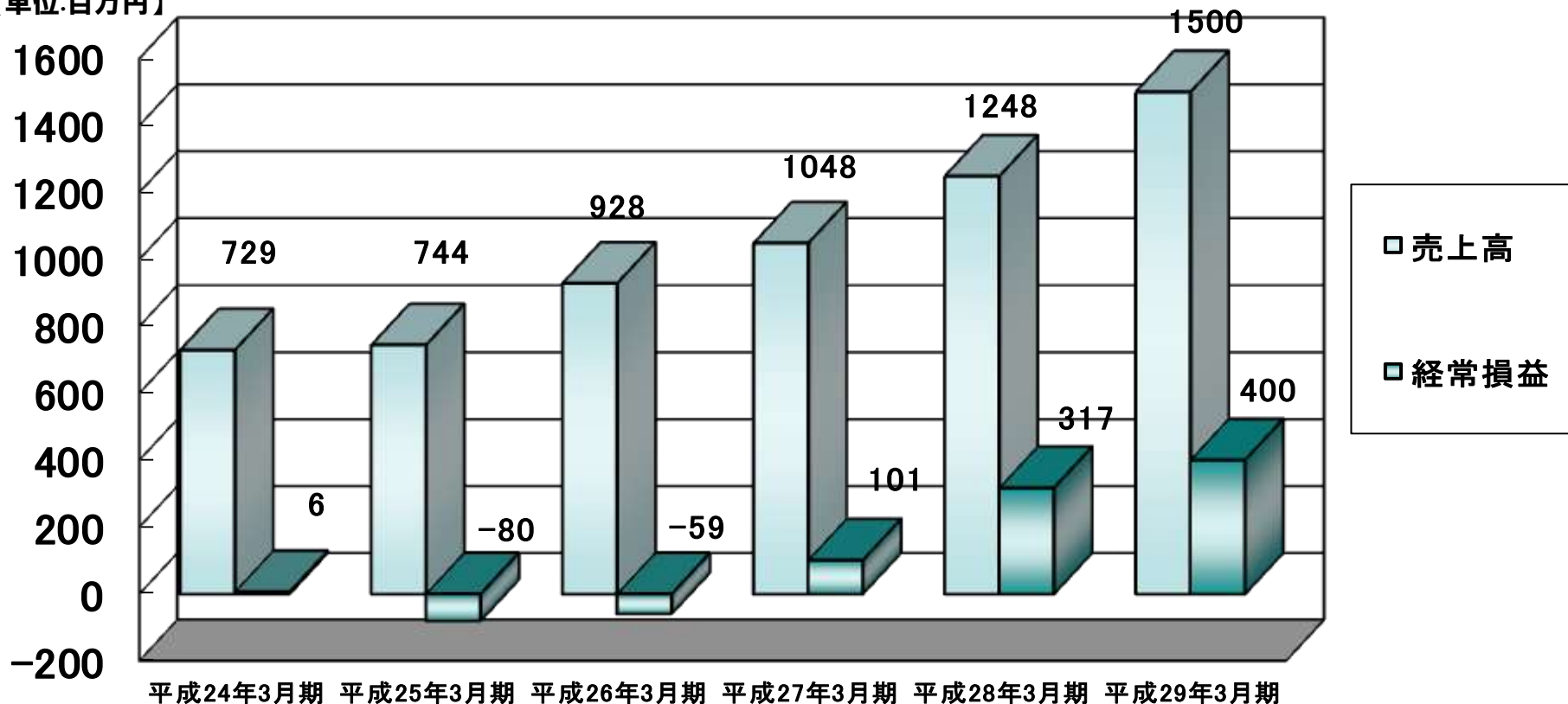
事業部制への組織再編により意思決定の迅速化、プロジェクト管理体制、要員管理体制を強化するとともに不採算プロジェクトの低減を図る。

# 3か年計数計画



- 平成26年3月期 売上高 928百万円、経常利益 △59百万円
- 平成27年3月期 売上高1,048百万円、経常利益 101百万円
- 平成28年3月期 売上高1,248百万円、経常利益 317百万円
- 平成29年3月期 売上高1,500百万円、経常利益 400百万円

【単位:百万円】



本日は、ありがとうございました。

## <お問い合わせ先>

担当窓口： イメージ情報開発株式会社

経営管理室長 佐藤 将夫

TEL : 03 - 5217 - 7811

FAX : 03 - 5217 - 7816

URL : <http://www.image-inf.co.jp/>

本資料には、将来にわたる見通しに関する記述が含まれております。これらは現時点での予測であり、実際の業績は、今後の経済動向やその他の社会・政治情勢など様々なリスクや不確定要素により、見通しとは異なる結果となる可能性があることをご了承ください。